

2025.8.23
(uploaded 2025.9.10)

春夏秋冬

Words by Keiichiro Kodama
& San Motegi
Music by Keiichiro Kodama
Performed by HUSHBYRD
3-130, 3'53

季節は色々な景色を見せてくれるが、目に心地よい色だけに流されると時代はあっという間に1つの色に染まってしまい、大事なものを失ってしまう。そんな歴史をまた繰り返す？

The seasons bring with them a variety of scenery, but if we are swayed by only the color that is pleasing to our eyes, the era will quickly be dyed in one color and we will lose what is important. Are we going to repeat history like that again?

春はゆらめく	光の中に
夏は木陰の	風に乗って
秋 (は) 赤く	梢の向こうに
凍える冬の空	青く 高く

春夏秋冬	季節が
鮮やかな色で	時を染めてく
軽やかな足音	響いてる
立ち止まってぼくは	心 ふりかえる

生まれてmonochrome	ここまでのlifetime
見つけているのか	誰も消せない色

春夏秋冬

人は時代の

春の光 夏の風

まばゆい光の奥に

くり返して

色に染まってく

秋の梢 冬の空

消えない色があるはず

歴史はめぐる（めぐる）

人々引き寄せては

心地よい風が（風が）

招いたmonotone

春夏秋冬

鮮やかな色で

流れゆく時代の

ぼくが探してるのは

季節が

時を染めてゆく

タペストリー

いのちの色

当サイトの内容、テキスト、画像、楽曲等の無断転載・無断使用を固く禁じます

Unauthorized copying and replication of the contents of this site, text ,music and images
are strictly prohibited.